

しあわせ

2014

8

AUGUST

編集・発行 一宮町社会福祉協議会

発行回数 年3回

みずほ会



みのり会



元気で健康に過ごせるために
季節の食材を組み合わせ

配食ボランティア調理研修会

やよい会



すみれ会



防災意識の向上に向けて



いざというときどうするか？

また、今回野口氏による講演を聞き、災害発生時に備え、普段から行政・各団体・住民の方々と連携を取り、訓練や防災意識の向上に向けて取り組んで行くことの大切さを改めて感じました。

全ての人が安心して暮らせる地域づくりのため、これからも頑張っていきたいと思っています。

小安 良輔

昨年は、茂原市が台風26号による甚大な被害を受けたことにより、私も災害ボランティアセンター運営協力等のため、現地へ赴くことになりました。

その際、センター運営を行う茂原市社協職員の方々のチームワーク、地元災害対策コーディネーターの方々からの協力、全体・グループ別ミーティングによる課題・反省点の洗い出し等、円滑・的確な運営に思わず目を見張ったのを覚えています。



災害ボランティアセンターの運営は…

7月22日一宮町保健センター会議室にて「一宮町社会福祉協議会・一宮町ボランティアセンター合同研修会」が開催されました。今回は、昨年台風26号による被害に伴い、災害ボランティアセンターの設置・運営を行った茂原市社協の野口稔氏を講師として招き、「災害ボランティアセンターの機能と役割」と題した講演が行われました。

当日は50名以上の方が参加され、野口氏からの大変貴重なお話に聞き入り、今後の防災活動へ役立てようと思いました。

快挙！ ねんりんピック出展

一宮町つくも会（一宮町老人クラブ連合会）から、近藤末子さん（4区・友の会の作品である「漢字三体字（行書）」のねんりんピック栃木2014美術展への出展が決まりました。

昨年の長生地区老人クラブ連合会作品展にて入賞されたことが大きく評価されたものです。



出展おめでとうございます

近藤さんは、「大変光栄に思います。これを機に更なる高みを目指して、日々励んで参りたいと思います。」と、力強く話していました。

ボランティア活動の中で心の健康・安全・奉仕、お互いの信頼感が大切だと教えていただきました。地域で「私ができること」をひろげるために「知識と技術を実際に体で感じた有意義な一日でした。」

奉仕団員 大橋則子



うまく動かせるかな

平成26年7月9日、赤十字奉仕団指導技術等研修会が県赤十字会館にて開催されました。「あこがれの赤十字」を参加者全員で合唱し、オリエンテーションに入り指導技術研修Ⅰでは、非常食炊飯（ハイゼックスと呼ばれる）の作り方と指導方法について学び、作り方は一合の米と水を炊飯袋に詰め、約30分程沸騰させるだけで米を炊くことが出来ます。特徴として殺菌・密封状態になるため保存性が良く、手が汚れていても箸は不要で袋からご飯を直接食べることが出来ます。自分たちで作ったハイゼックスは、昼食にインスタントのみそ汁とおいしくいただきました。

2人1組になり高齢者体験セット器具を着用して、会場に設置したコースを使用し、手をひいてもらい声をかけ合いながら階段を歩くのはとてもたいへんです。水を飲むのもやっとでした。

日常生活との違いや不便さを体験し、「いつかはみんな年を取る」。お年寄りの生活の大変さや介護者の心がまえを体験を通して学ぶ事で、ボランティア活動の中で心の健康・安全・奉仕、お互いの信頼感が大切だと教えていただきました。地域で「私ができること」をひろげるために「知識と技術を実際に体で感じた有意義な一日でした。」

奉仕団員 大橋則子



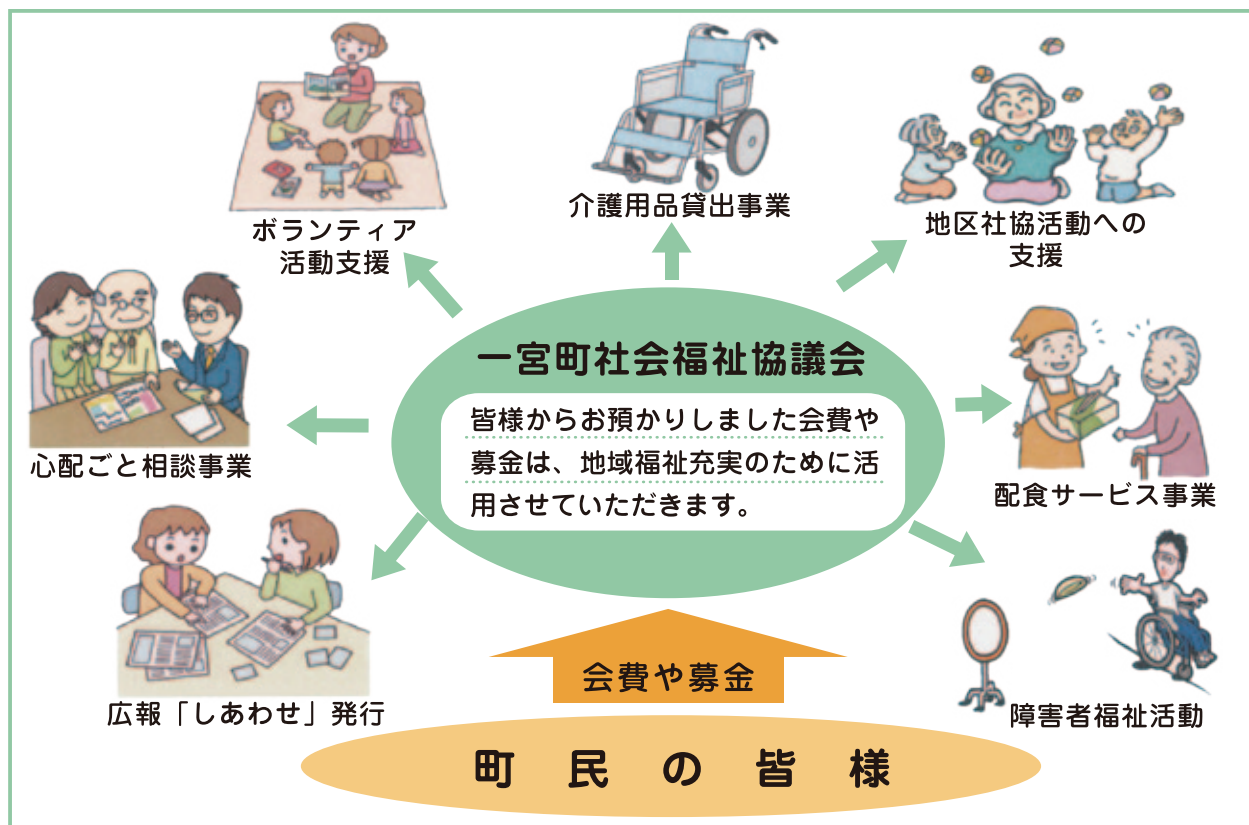
おいしく出来上がりしました

午後は車いすの操作と指導方法を学び、2人1組になって実際に乗って押し方・キャスター上げ・段差の上り方など学びました。最後に高齢者体験を行い、高齢者役と介護者役

日赤 奉仕団

私ができることを
広げるために

福祉のまちづくりに ぜひあなたもご協力ください



平成 25 年度社会福祉協議会会計決算報告（旧会計）

（単位：円）

収 入		支 出		
一般会計	会費収入	1,601,200	法人運営事業	18,087,769
	寄付金収入	50,000	調査・研究・広報事業	1,530,799
	町補助金収入	14,523,546	地域福祉活動推進事業	1,543,418
	助成金収入	110,000	心配ごと相談事業	37,400
	町・県社協受託金収入	15,918,966	共同募金配分事業	3,205,042
	事業収入	4,500	受託事業	15,918,966
	貸付事業等収入	94,000	貸付事業	81,600
	共同募金配分金収入	3,054,042	当期末支払資金残高（次年度繰越金）	6,307,023
	その他の収入	5,690,434		
	前期末支出資金残高（繰越金）	5,665,329		
小 計	46,712,017	小 計	46,712,017	
特別会計	居宅介護支援事業	14,246,716	居宅介護支援事業	14,246,716
	居宅訪問介護事業	34,758,887	訪問介護事業	34,758,887
	シルバー人材センター事業	51,242,499	シルバー人材センター事業	51,242,499
	小 計	100,248,102	小 計	100,248,102
	合 計	146,960,119	合 計	146,960,119

平成 26 年度社会福祉協議会会計予算（新会計へ移行）

（単位：円）

	収 入		支 出	
社会福祉事業	会費収入	1,610,000	法人運営事業	23,411,000
	寄付金収入	3,000	広報啓発事業	733,000
	経常経費補助金収入	23,347,000	福祉活動推進事業	2,157,000
	受託金収入	20,727,000	共同募金助成事業	3,092,000
	貸付事業収入	60,000	受託事業	18,828,000
	事業収入	4,000	貸付事業	456,000
	介護保険事業収入	31,929,000	訪問介護事業	21,132,000
	障害福祉サービス等事業収入	4,074,000	障害者福祉サービス事業	4,074,000
	受取利息配当金収入	13,000	居宅介護支援事業	10,655,000
	その他の収入	70,000		
	施設整備等補助金収入	1,170,000		
	事業区分間繰入金収入	366,000		
	前期末支払資金残高（繰越金）	1,165,000		
	小 計	84,538,000	小 計	84,538,000
公益事業	シルバー人材センター事業	49,283,000	シルバー人材センター事業	49,283,000
	小 計	49,283,000	小 計	49,283,000
	合 計	133,821,000	合 計	133,821,000

社会福祉協議会（社協）の事業は、行政からの補助金や個人の方からの寄付金のほか、住民の皆様からお預かりした日本赤十字社社資・社会福祉協議会会費・共同募金・歳末たすけあい募金によって成り立っており、事業に全額使われております。社協としても、「福祉のまちづくり」のため会費・募金を今後大切に活用させて頂きたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

福祉車両をご利用になりませんか

一宮町社会福祉協議会では、車イス対応福祉車両の貸出を行っています。

（利用対象者）

- ・高齢者及び障害者（児）の方並びに家族
- ・社会福祉団体及び社会福祉施設
- ・福祉ボランティア
- ・その他、会長が必要と認めた方

（運転者）

- ・利用者の家族またはボランティア等で福祉車両の装置取り扱いの説明を受けた方

（利用手続）

- ・ご利用前に、「貸付申込書」にて申請していただきます。



なお、運転される方は、運転免許証の提示が必要です。

（利用時間）

- ・平日の午前8時30分から午後5時15分まで。

一宮町社会福祉協議会
☎（42）3424

小安良輔